

1月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成22年1月28日(木) 10時00分～10時52分
- 2 開催場所 武雄市役所 1階会議室A
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、大石委員長職務代理者、森委員、植崎委員、浦郷教育長
事務局：浦郷教育部長、藤崎こども部長、浦川教育総務課長、山口学校教育課長、森文化・学習課長、綿島学校教育課参事、荒川図書館・歴史資料館館長、原田文化財係長、山口未来課青少年係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名
- 7 前回会議録の承認
- 8 教育長の報告
- 9 議 事 第20号議案 武雄市小中学校設置条例の改正について
第21号議案 文化財指定の諮問について
- 10 その他 ア 各課等からの報告
イ 次回開催日程について
ウ その他
- 13 会議録

午前10時 開会

○諸石委員長

外は何となく光の春になってきているような感じがいたします。

でも、まだまだ寒の戻り等は十分あると思いますので、どうぞ皆さん方健康に気をつけて、年度の終わりをまとめていただくようお願いいたします。

では、ただ今より1月の定例教育委員会を始めたいと思います。

最初に、議事録署名人の指名でございますが、今回は植崎委員さんですね。では、よろしく願いいたします。

次に、前回の会議録の承認についてでございますが、確認いただいて何か訂正等ありましたでしょうか。これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、承認をいたします。

早速、次に進みます。

教育長の報告です。浦郷教育長、お願いいたします。

○浦郷教育長

おはようございます。まず前回以降の報告を申し上げます。

1ページの報告をご覧ください。

詳細につきましては、各課長より申し上げます。私からは、1月12日に範蔵まつりと書いておりますが、これは毎年、花島区の公民館で岩倉欧米使節団の副使でありました山口尚芳さんの遺徳を偲んでおまつりが行われておりまして、年々盛大になっているということで、今年も公民館に入り切れないぐら

い、地元の方、それから歴史に興味のある方等々がみえておられました。今後も何らかの顕彰をしていかなければと思っております。

それから、あと数点申し上げたいと思いますが、まず、新型インフルエンザでございます。12月の第3週あたりから学級閉鎖等はありません。1月に入っても同様でございます。ただ、罹患者、それから欠席者はポツポツと報告がなされております。今しばらくは注意をいたしたいと思っております。

それから、教育委員会の県関係の動向でございますが、来年度の事業予定というプリントを差し上げているかと思えます。22年度佐賀県市町教育委員会連合会事業予定ということでございます。定期総会が6月30日、そして、その上から7番目に県市町教育委員研修会（新規）というのがございますが、教育委員会、私どもの研修もさらに必要だということで、これは県の主催になろうかと思えますが、来年度から計画をされております。

その次に、全国学習状況調査についてご説明をいたしたいと思えます。

これまで「未定」ということを公にしておりました。これは経費や採点・分析などにめどがつかなかったからでございますけれども、1月の1ページの報告の中にも書いておりますように、県の学校教育課、それから教育政策課との協議等々が県内各市町の教育委員会となされまして、ほぼ経費についても、採点や分析のあり方についてもめどがついたということで、武雄市としても参加の方向でお願いしたいと思っております。

新しい学力観に対応した調査でありますので、日ごろの指導がそういう新しい学力観に対応し、できるだけ個々の子どもたちに即した指導が行えるようにという趣旨で、抽出校以外についても参加をいたしたいと思っております。また、その生かし方が問われるわけでもありますので、次年度以降、特に組織的に取り組む計画を進めているところでございます。

その次に、人事につきましては現在のところ、特別大きな支障なく進展しております。

次に、中学校の問題行動についてでございます。

ずっとご心配いただいてきたわけでございますけれども、拘束されておりました2名の中学生は、学校に戻っておりまして、進路の決まる時期でもございますので、校長、担任を中心に指導を継続しております。一挙に生活が変わるものではありませんけれども、以前とは違った生活態度が、向上が見られるという報告を受けております。

これまでもそうでしたけれども、学校教育課の対応、そして、スクールソーシャルワーカー、サポーターをはじめ諸機関の方々、保護者、そして今回、朝日町の有志の方々が週に1回程度学校を訪問していただいたりもしております。支援できることはないかということで応援していただいているという状況でございます。中学校においては講演会等も計画されておりまして、学校と連携しつつ、今後も気を緩めることなく対処していきたいと思っております。

その他、現在、来年度予算の編成時期でもありまして、武雄小・中学校の耐震化工事等の高額の前算があるわけですが、それらも含めまして、来年度さらに教育振興が図られるように折衝中というところでございます。

それから、後で報告がありますが、この後もかなり大きな行事を予定しておりまして、委員会としても集大成の時期かと、自己評価の時期でもあり、次年度の方針策定も進めながら集大成をしていきたいと思っております。

それから、実は昨日ですけれども、県の退職校長会からおみえになりまして、「教育の日」制定についてということで要望がなされております。これは、昨日のことでありましたので、ご説明にも若干時間がかかろうかと思っておりますので、委員会終了後に補足の説明をさせていただきたいと思っております。

以上です。よろしく申し上げます。

○諸石委員長

有難うございました。

ただ今の教育長の報告でございますが、何か質問等ございませんか。

私からですが、この範蔵まつりというのは、これは地域の行事で、大々的にされるというもんじゃないですね。

○浦郷教育長

そうですね、午前中にお墓にお参りされて、そして、午後は公民館で地区の方が田舎料理ですよということで、冬の野菜を使った料理をふるまってもらったりしておりまして、それが毎年続いているようでございます。一応、地区の方が中心ということですね。

○諸石委員長

ほかに委員さんから何かございませんか。

○C委員

先ほど教育長さんから、中学校のことについてご説明がありましたけれども、私も朝日町の有志の方々のみまもり隊に加えていただきまして、2回ほど参加しましたので、ご報告をさせていただきます。

朝日町の方々ですけれども、1月13日から昨日まで計5回学校に行っていたいております。初日の13日と、それから25日に私も一緒に行かせていただきました。そのうち、2回目の25日に行ったときには、子ども2人も学校に帰ってきていた日ですけれども、どの子がその子だったのかな、分からなかったよねと参加された方々がおっしゃるほどに学校も落ち着いてみえました。両日ともにほとんどの子どもたちが大変よく挨拶をしてくれて、見回りに行った方々はみんな、ああ、いい子たちばかりだよ、挨拶元気だよ、よくしてくれるよね、行ってよかったねって、実際見てみないとわからんもんね、そういう感想をお持ちいただきました。

また、一応1月で終了ですけれども、この後のことも考えていきたいなど、参加していただいた方々ともお話をしております。

以上です。

○諸石委員長

有難うございました。心の一つの病でもありますし、何か紙を張りかえるというような、裏表に張りかえるということもできないし、徐々にそういった援助をいただきながら、子どもたちが落ち着いていくということを望みたいと思います。

そして、今お話しの中に、いい生徒たちばかりだねという、その風評というんですか、それをずっと広げていただければと思います。ちょっと悪いことがあると、あそこはこうと、そういうふうになってしまうので、何かそういうふう言葉がぼんぼんと出てきたら、それにずっと見方、考え方が流れてしまうので、本当に逆手をとって、そういう声をずっと各地域にも、市内にも機会あるごとに流していただければ、また他の子どもたちにも自信、勇気がつくんじゃないかと思います。これは私の感想でございますが。

ほかに何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、これでよろしいでしょうか。

では、教育長の報告は終わりたいと思います。

では、議事に入ります。第20号議案について提案をお願いいたします。浦川課長さんどうぞ。

○浦川教育総務課長

それでは、2ページをお開きください。

第20号議案 武雄市小中学校設置条例の改正についてでございます。

武雄市立西川登小学校矢筈分校について、児童が減少し、今後も増加が見込めないため、平成22年3

月31日をもって廃止したいという条例を、本年の市議会3月定例会に提出するものでございます。

提案理由でございますけれども、武雄市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1号、「学校その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。」という規定がございますので、教育委員会として議決していただくものです。

教育委員会で議決していただきますと、条例の提案者である市長が市議会に提案し、そこで議決されて最終的に廃止が決定されます。

3ページに現行の設置条例を記載いたしております。

中ほどですね、武雄市立西川登小学校矢筈分校と記載されていますが、ここの部分を削除するという改正になります。

続きまして、関連いたしまして、4ページ、5ページについてでございますけれども、これは3月市議会で廃止が議決された後に、教育委員会規則の改正が必要となるものです。

4ページの中ほどでございますけれども、武雄市立西川登小学校の分校、これは通学区域を定めている規則でございますが、西川登町矢筈区の区域の1、2年生の校区が矢筈分校となっておりますが、ここの部分を削除するという規則の改正が必要となりますので、参考までに付けております。

説明については以上です。

○諸石委員長

ただ今の第20号議案ですが、まず、矢筈分校は児童の減少によって、平成22年3月31日をもって廃止するというところで提案がされておりますが、委員さん方いかがでございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、教育委員会として廃止ということで決定したいと思います。

それに伴って、設置条例でございます。この条例の中の西川登小学校矢筈分校を削除するということになります。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにしたいと思います。

あとの通学区域については、また後日検討するというところで、以上、第20号議案を提案してもらいましたが、そのように決しましたので、今後の事務処理をお願いいたします。

では、次の第21号議案についてお願いいたします。

○浦川教育総務課長

それでは、第21号議案です。6ページをお願いいたします。

文化財指定の諮問について、下記物件を文化財に指定したいので、武雄市文化財保護審議会への諮問について、教育委員会の議決を求めるというものでございます。

提案理由でございますけれども、武雄市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第19号、「附属機関に対し重要な諮問をすること。」との規定がございます。重要な諮問を行う場合には教育委員会の議決を必要といたしますので、提案をするものです。

文化財の指定候補についてご説明を申し上げます。

武雄市重要文化財、文化財の名称及び員数、文化財の所在の場所、文化財の所有者・管理者の名称及び住所の順で読み上げます。

打刷毛目花文大皿（工芸品）1点、西川登町大字小田志14982番地、中島宏、西川登町大字小田志14982番地。

次に、大副磨崖種子十三仏図（彫刻）1面、北方町大字大崎字大副2167番地2、所有者稗田正虎、相続者稗田隆興、稗田省三、管理者稗田朴三となっております。

7ページから11ページまで文化財指定候補の内容について記載しておりますが、この件につきまして

は、文化学習課・原田主幹から詳細について説明させていただきます。

○原田文化財係長

それでは、一つ目の打ち刷毛目花文大皿につきましてでございます。

大きさは口径が47.3センチのものです。8ページの写真を見てくださいと分かりますように、刷毛を打ちつけて、この場合は花の紋様を描いているという大胆な構図のものです。

制作年代は、大体1690年代から1710年代という位置付けがなされているところでございます。

この見込みのところに墨書で「寿し」と書いてございます。小さくて分かりづらいかも知れませんが、そういう書き込み等々ある中で、こういった大皿がどういう使用のされ方をしてきたのかというのが分かる貴重な資料だと思います。皆様方の資料、この部分に「寿し」と書いてあります。少し見づらいかと思います。

今回、この大皿を指定したいという経緯につきましては、1つは、前回4点ほど大皿とかめを指定していたんですが、平成18年ですね。そのときまでに、この打ち刷毛目という技法が武雄で本当にできていたかどうかという確証がつかめていなかったものです。

最近、特に西川登公民館の庭木前館長さんが収集された中にこういう技法のものがみついているという状況で、武雄でつくられた可能性が非常に高い、図録にもそういうことは武雄南部系と書かれてはいたんですが、そういう部分が分かりましたので、今回指定をしたらどうかと考えているところです。

ただ、もう一つ平成18年に指定しておりました鉄絵緑彩松樹文大皿という松の絵を書いた大皿なんです。これが現在、県の指定候補として2月4日に県の文化財保護審議会が開催される中で、県の指定に答申されるだろうという見込みになっておりまして、県の指定になれば市の指定が解除ということもあるところでございます。そういう意味で、こういった武雄を代表する工芸品をより多く世の中に知らせるという意味においても、これを指定したいというところで上げております。

続きまして、二つ目の大副磨崖種子十三仏図でございますが、これは11ページの写真を見てくださいと分かりやすいかと思いますが、山の岩に直接彫られた種子、通称梵字とかと言っております種子で十三仏を表わしていると。

一番下の段に10の仏様を書いた種子、中段2つに最上段が1つというような構成になっております。その構成は10ページに配置図を上げております。

製作年代などについては、記年銘がございませんので、はっきりとは言えない部分があるんですが、山内町の瑞応寺の十三仏板碑ですね、これは記年銘があって、天正14年、1586年であることが分かっております。

十三仏信仰、そういったものの状況とか、種子の彫り方等々から考えますと、恐らくこの16世紀の後半代、終わりに近い頃になるのかも知れませんが、そういう年代感が考えられるというところです。

これにつきましては、北方町を代表する文化財の1つとして指定をしたらどうかと考えているところでございます。

これについての参考図書などにつきましては、「北方町史」「山内町史」「武雄市史」「武雄市の文化財」を上げているところでございます。

以上、説明にかえさせていただきます。

○諸石委員長

有難うございました。

文化財指定の諮問について提案をしていただきましたけれども、まず1番目の、打ち刷毛目花文大皿について、何かお尋ねになりたいことございませんか。

○B委員

失礼します。保存管理状況でございますが、中島さんご自身が自宅に持っていらっしゃるわけですか

ね。

○原田文化財係長

そうですね、はい。

○B委員

そして、ご自分で管理なさっていると。

○原田文化財係長

そうです、はい。

○B委員

そしたら、こんな場合は、そんな文化財がありますよということは、何か表札か何か分かるような格好をとられるんですかね。

○原田文化財係長

それは多分難しいかと思います。ただ、こういう指定をする中では、平成18年に4点ほど指定をしております。そういうものがどのように扱われているかというのは、管理は個人さんがしながら、例えば武雄市とか佐賀県の博物館施設、そういったところで展覧会をするときに、どうぞ貸してくださいと。そこで展示をして皆さんに公開をすると。個人所有のもので、概ねそういう形、個人の家に行けばいつでも見れますよという形には、なりにくいというか、そういう形での活用、博物館施設等での活用というのが考えられるということです。

○B委員

同じようなことを、北方の仏様ですね、これは山の岩に彫られている訳ですか。

○原田文化財係長

そうですね、はい。

○B委員

保存状況はどんな具合でしょうか。

○原田文化財係長

今現在で言いますと、完全という状況ではないと思っております。やはり直接、風雨にさらされる、そういう状況ですので、随分、一番下の十の仏さん、刻まれた部分で、両サイドのほうは大分薄くなっているという状況はあるんですね。

この場合は、山の一角、岩に刻まれているものですから、そういう意味ではだれでも見に行ける場所ではあるんですね。いたずらをされない限り、そんなに急激に壊れていくということはないとは思いますが、保存のための措置として、もとは屋根が少し付いていたらいいですね。その痕跡は今も残っているんですけど、そういう保存措置を将来的に施す必要があるかどうかとか、砂岩質の岩ですので、その面を少し強化する必要があるとかという、何らかの保存措置の修理といえますか、保存修理の必要性というのは、将来的には出てくると思っております。

○B委員

そうでしょうね、将来的には何か手を加えないといけないと思います。

○諸石委員長

今、両方出ましたので、北方町の文化財についても併せて、何かほかにご質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

文化財の指定の諮問についてよろしいでしょうか。

武雄市としても、「陶芸の里・武雄」とかも言われておりますし、ここで指定の理由として、陶芸の歴史、陶芸美術史を考える上で重要だとか、それから、北方の場合は十三仏信仰の様子を探る資料として、信仰を考える上で重要だとか、色々と今からの文化の面での参考になる重要な資料だということ

ございますので、どんなでしょうか。指定候補として諮問して。

〔「指定していただいて保存を」と呼ぶ者あり〕

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのように指定をして、また後は保存をよろしく願いますということで認めたいと思います。

では、諮問については以上議決いたしました。次に進みたいと思います。

では、その他に移ります。各課からの報告です。まず、教育総務課からお願いいたします。

○浦川教育総務課長

それでは、13ページをお願いいたします。

行事報告と行事予定について報告いたします。

まず、行事報告ですけれども、1月27日、昨日ですが、本市におきまして県内10市の教育行政主管者会議が開催されました。これは、社会教育部門を除く学校教育、それから総務関係ですね、これの主管者会議ということで、25名の出席がございました。全部で12項目の協議事項がそれぞれの市から出されて、意見交換を行ったという会議でありました。

行事予定です。2月10日18時30分から、市連合PTAとの教育懇談会、教育委員さん方に出席いただく会議がございます。後ほど、出欠についての確認をしたいと思っております。

教育総務課は以上です。

○諸石委員長

では、学校教育課どうぞ。

○山口学校教育課長

学校教育課です。

前回より昨日までの行事報告については、1番目のところに書いてある通りです。定例校長会、12月6日。それから1月26日、市の教頭会を実施しました。

それから、1月28日から2月28日までの行事ですけど、2番目のところに書いてあります。中でも、2月3日のがん教育推進研修会、これは中学1年生、2年生を対象に、参加は山内中と武雄北中の生徒ですけど、これを山内農村環境改善センターに集めまして、そこで講演会をもつと同時に、前半の部に、市内小中学校の管理職、養護の先生、体育の先生等を集めて、がんに対する研修会、命の大切さという面も併せて、研修会を持ちます。講師の先生は、前回お知らせしたように、中川恵一先生を東京からお呼びして、研修会を催すように計画しております。

それから、人事については、そこに書いてあるとおりです。

4番目の寄附についてですけど、西川登町婦人会から図書カード、東川登町婦人会から同じく図書カード、若木町の原口様から児童図書25冊をいただいております。

以上でございます。

○諸石委員長

では、文化・学習課生涯学習係、どうぞ。

○ 森文化・学習課長

それでは、15ページをご覧くださいと思います。

まず、行事報告ですけれども、1月3日に成人式を行いました。参加者された新成人は561人でした。各地区の成人式でトラブル等も新聞等で報道されていますけれども、武雄市においては非常に厳粛に行われております。

行事予定ですが、1月30日、今週の土曜日ですけれども、「人権フェスタ in たけお」を、文化会館小ホールで行います。金子みすずさんのコンサートを予定しておりますので、ご出席いただければと思

います。

次に、スポーツ係ですけれども、行事報告では、東京ヤクルトの福地選手の野球教室、それと先週の日曜日ですけれども、ホークスジュニア・アカデミーの少年野球教室及び池田親興氏の野球講演会ということで、市内の野球チームの小学生及び保護者等、約350人の出席がありまして、非常に盛大に行われました。アンケートをとった結果、来年も是非行って欲しいとの要望がありましたので、これについても今後検討していきたいと思えます。

行事予定ですけれども、2月14日、第2回武雄市長杯ファミリー・フットサル交流会、19日から21日にかけて、第50回郡市対抗駅伝大会が予定されておりますので、ご多忙と思えますけれども、ご声援方、よろしくお願ひいたします。

文化芸術系の行事報告です。

1月11日、第4回武雄市民ジュニアウインドオーケストラ育成事業の演奏会が行われております。市内の中学校の吹奏楽部員が、これまでの練習の成果を十分発揮してくれまして、非常に素晴らしい演奏会だったと思っております。

行事予定ですが、2月12日には「人形劇たいらじょうの世界」が、文化会館小ホールで行われます。是非こっちのほうも参加いただければと思えます。

次に、18ページの文化財ですけれども、行事報告といたしましては、先ほど教育長の話にありました範蔵まつり、1月26日に第56回文化財防火デー防御訓練が行われております。

行事予定ですが、2月1日に武雄の古きよき文化・歴史を再発見する協議会の設立総会を予定しております。

それから、2月10日から11日にかけて、福岡県大野城市で、古代山城プレサミットが予定されているところですよ。

2月24日が武雄市文化財保護審議会、2月28日に東京のNHKホールで地域伝統芸能まつりに中野の荒踊が出演されるということになっております。

以上でございます。

○諸石委員長

はい、有難うございました。

では、図書館・歴史資料館、どうぞ。

○荒川図書館・歴史資料館館長

失礼します。行事報告ですが、1月23日に「ふゆのおはなしかい」をいたしました。これは、12月26日にクリスマス会を行う予定でありましたが、インフルエンザの影響で開催できず、1月23日に「ふゆのおはなしかい」ということで行いました。

それから、27日、古典講座第8回目と書いてありますが、これは最終回なんです、実際の計画は1月13日だったんですが、大雪のためにこの日に変更しました。

続いて、行事予定ですが、委員さん方にお配りしておりますけれども、2月13日から図書館・歴史資料館の特別企画展「戦国の九州と武雄」と題して開催いたします。そこで、2月13日土曜日9時30分から開場式を行いたいと思えます。ご参加よろしくお願ひしたいと思えます。

この展覧会は、前期と後期に分けて、前期が2月13日から28日、後期が3月2日から3月21日まで開催の予定です。

以上です。

○諸石委員長

はい、有難うございました。

では、未来課からどうぞ、お願ひいたします。

○山口未来課青少年係長

まず、行事報告でございます。20ページになります。

12月25日から26日にかけて、ジュニアリーダーのクリスマス会をユースホテルで実施しております。研修生が38名、引率も含めまして57名が参加しております。

それから、1月3日から7日まで4泊5日の日程で、わんぱくスクールのスキー研修、鳥取県氷ノ山での研修に参加しております。わんぱく生が26名、引率者も含めると全体では39人が参加したところでございます。

それから、1月10日と24日、雄武町の派遣団事前研修、開校式と、それから事前研修の2回目ということで、これにつきましては参加児童が16人、それから引率者が4人、計20人の派遣団ということで、事前研修をしたところでございます。

それから、1月31日に予定しておりましたトムソーヤフェスティバルをインフルエンザの影響で中止をしたところですが、これに併せまして、各町のトムソーヤ活動の写真展を実施するようにいたしておりました。この活動の写真展だけは、2月1日から7日まで文化会館市民ホールで予定どおり開催をするようにしております。

なお、これにつきましては、1月30日に人権フェスタが開催されますので、その人権フェスタのパネル展と併せて同時開催するように予定をしております。

それから、2月5日から9日まで、4泊5日、雄武町への児童交流派遣ということで、出発式の部を5日の5時40分から、早朝になりますけれども、教育委員さんはじめ、来賓の方々には今日、ご案内を出しておりますので、非常に早朝でお忙しいと思いますけど、時間の許す限り、ご出席をお願いしたいと思っております。

それから、2月7日にわんぱくスクールの閉校式ということで、全12回の課程を終了しまして、ここで閉校式をするようにしております。

この場所が文化会館となっておりますけれども、保養村に訂正をお願いしたいと思います。文化会館につきましては、雨天の場合が文化会館ということになっておりますけれども、晴天の場合は保養村で開催するようにいたしております。

それから、2月21日、雄武町派遣団の事後研修、それと併せまして、閉校式ということで研修の報告をここでやりたいと思います。またこれにつきましても、教育委員さん初めご案内をいたしたいと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。

以上でございます。

○諸石委員長

はい、有難うございました。

各課とも、本当にたくさんの行事等を計画、実施していただきまして、本当にご苦労さまでございます。よくも場所や時間があつたなというような感じでございますが、本当に有難うございます。

何かご質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に進んでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、いろいろとご苦労さまでございました。有難うございました。

では次に、次回の開催日程ですが、案を申し上げたいと思います。

2月19日金曜日、14時からでいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、次回は2月19日金曜日、14時からに決定いたします。

では、そのほかに何かございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、定例の委員会はこれで終わりたいと思います。どうも有難うございました。

午前10時52分 閉会

以上、教育委員会会議録に誤りがないことを認め、ここに署名します。

平成 年 月 日

教育委員長

教育委員

記 録